

議長 副議長 就任ごあいさつ



副議長
川口 正



議長
折本 正

玉留

明

議長・副議長就任に当たり、ご挨拶申し上げます。

この度、不肖私共が議員の皆様方のご推挙によりまして、第42代議長、第43代副議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄でありますとともに、責務の重さに身の引き締まる思いであります。この重責を受けましたからには、議会の一体感醸成を図り、公平にして且つ公正に信義に満ちた議会運営に努め、開かれた議会を目指し、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう、議決機関としての役割を果たすべく努力を重ねてまいります。

さて、夢と希望に思いを馳せ、

新生土浦市が誕生して早くも3ヶ月余りが経とうとしておりますが、市政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。財政問題をはじめ、地方分権の推進、地域産業の振興や定住人口の促進に加え、少子・高齢化社会に向けた医療・福祉の充実など、重要な課題が山積しておりますが、合併協定項目が着実に実現できるよう、議会としての機能を十分に果たしながら市政進展のため粉骨砕身頑張る所存であります。



開かれた議会運営と 市政発展のために

平成十八年度予算決まる

今回可決された議案のうち、市政運営の根幹となる平成十八年度土浦市一般会計予算と特別会計予算は、将来を見据え、また、健全な行政運営を基本として、事業の効果などを勘案したもので、その総額は、八百四十八億八千七百万円です。

主なものとしては、合併後の新しいまちづくりの指針となる「第七次土浦市総合計画策定委託料」をはじめ、洪水時の浸水情報や避難方法等の情報を表示した「洪水ハザードマップの作成委託料」、障害福祉サービス等を定める「障害福祉計画の策定委託料（相談及び地域生活支援事業の提供体制の確保）」、平成十九年十一月に本県で開催される「ねんりんピック茨城（本市は剣道会場）開催準備金」、土浦商工会議所が実施する一割のプレミアム付商品券の発行を支援するため

の補助金、昭和五十六年以前に建築した住宅に対する「耐震診断委託料（二百件分）」、また、市内の全ての中学一年生を対象とした「宿泊生活体験学習委

託料（県立中央青年の家で四泊五日）などの計上です。
条例の改正（制定）については、年功的な給与上昇の抑制及び勤務実績の給与への反映など、抜本的な改革を実施する「土浦市職員の給与に関する条例の一部改正」など十三件を可決。その他、特別会計予算や平成十七年度補正（一般会計、特別会計）予算、さらに、指定管理者の指定や市道の路線の認定などを可決しました。

また、最終日には、特別委員会から中間報告と最終報告（四頁に要旨を掲載）が行われました。

人事案件としては、土浦市教育委員会委員の任命と土浦市公平委員会委員の選任の同意、また、土浦石岡地方社会教育センター一部事務組合議会議員の選挙が行われました。

■土浦市教育委員会委員

平田 洋子 氏

（桜ヶ丘町四十八番八号）

■土浦市公平委員会委員

須田 義之 氏

（下高津四丁目二番十九号）